

**製品名: トリプターゼ-3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19346**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TPSD1
別名	Tryptase delta (EC 3.4.21.59) (Delta-tryptase) (HmMCP-3-like tryptase III) (Mast cell mMCP-7-like) (Tryptase-3)
遺伝子 ID	23430.0
SwissProt ID	Q9BZJ3
免疫原	トリプターゼ 3 由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 51-100)

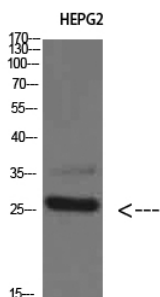
**背景**

トリプターゼデルタ 1 (TPSD1) ホモサピエンス トリプターゼは、トリプシン様セリンプロテアーゼのファミリーであるペプチダー

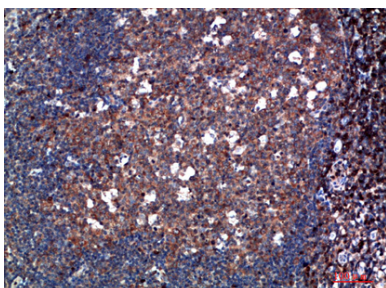
ゼファミリー S1 を構成します。トリプターゼは、ヘパリン安定化テトラマーとしてのみ酵素的に活性であり、既知のすべての内因性プロテアーゼインヒビターに耐性です。いくつかのトリプターゼ遺伝子は染色体 16p13.3 に密集しています。これらの遺伝子は、いくつかの異なる特徴によって特徴付けられます。これらは、高度に保存された 3' UTR を持ち、5'側面と 3' UTR にタンデムリピート配列を含み、これが mRNA の安定性の制御に役割を果たしていると考えられています。この遺伝子は例外かもしれませんが、ほとんどのトリプターゼ遺伝子は、転写開始部位とタンパク質コード配列を分ける開始 Met コドンのすぐ上流にイントロンを持っています。この特徴はトリプターゼの特徴ですが、他の遺伝子では珍しいです。トリプターゼは、喘息やその他のアレルギーの発症機序におけるメディエーターとして、また触媒活性として関係していると言われています。優先的な切断: Arg-|-Xaa、Lys-|-Xaa ですが、トリプシンよりも特異性が制限されています。、注意:PubMed:11174199 では、これが擬似遺伝子として報告されましたが、PubMed:12391231 では、細菌細胞で発現した場合に発現し、タンパク質分解活性を持つことが示されました。、機能:トリプターゼは、肥満細胞に存在する主要な中性プロテアーゼであり、この細胞タイプの結合した活性化と脱顆粒の反応時に分泌されます。、類似性:ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。トリプターゼサブファミリー。、類似性: ペプチダーゼ S1 ドメインを 1 つ含む。、細胞内局在: マスト細胞の活性化により分泌顆粒から放出される。、サブユニット: ホモ四量体。、組織特異性: 結腸、肺、心臓、滑膜組織で発現。マスト細胞に特異的である可能性がある。、

## 研究分野

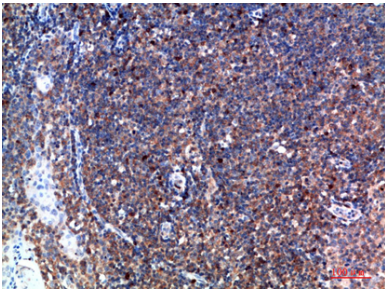
## 画像データ



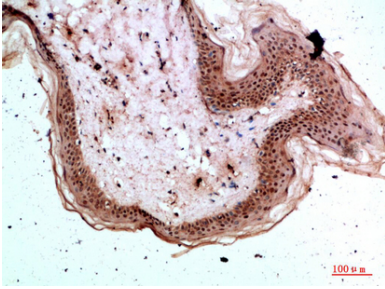
トリプターゼ 3 ポリクローナル抗体 (1:800 希釈) を用いた HEPG2 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



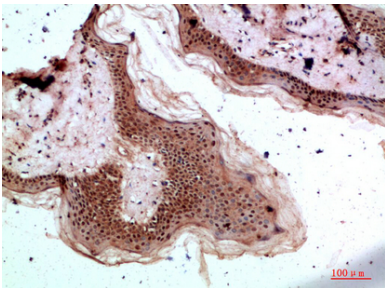
パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された